

製 薬 協

Japan Pharmaceutical Manufacturers Association

日本製薬工業協会（製薬協）は、新薬の開発によって社会への貢献を目指す、研究開発志向型の製薬会社が加盟している任意団体です。会員各社が緊密な連絡を保ち、製薬企業に共通する問題について、社会のご理解を得つつ、その解決をはかり、医薬品産業の健全な発展をめざすことを目的としています。2005年10月現在、外資系企業を含む75社が会員となっており、12の委員会、検討会の活動を通じて多角的な事業を展開しています。

また、医薬品製造業者の全国組織である日本製薬団体連合会（日薬連）や国際的な製薬産業の団体であるIFPMA（国際製薬団体連合会）に加盟しており、その中心的存在として活躍しています。

環境安全委員会は、地球環境保護ならびに労働安全衛生のあるべき姿を定め、会員各社の環境安全対策を支援し、業界の発展に寄与することを目的としている委員会で、1996年に環境委員会として設立、2002年に労働安全衛生に関する課題への取り組みを開始し、環境安全委員会に改称しました。

